

I. 地区の概要

当地区は、福井県小浜市東部に位置し、一級河川北川を取水源とする穀倉地帯で、地域内を縦断する松永川に繋がる農業水路には、希少種魚類やホタルが生息し、また、国宝「明通寺」等の社寺仏閣も多く、自然環境と文化遺産に恵まれた歴史ある地域である。

また、経営体育成基盤整備事業(ほ場) 小浜東部地区(H15～21)による区画整理等に合わせ、松永生産組合(現在の柵永耕農産)を設立し農地集積を図るとともに、農業経営の安定と生産性向上に取組み、営農組織・集落・土地改良区が一丸となった地域コミュニティの形成と農業用施設の保全・農村環境保全に取り組んでいる。

◇活動内容	農地維持	◇取組面積	田	150.63ha
	資源向上(共同)		畑	0.02ha
	資源向上(長寿命化)	◇集落数	9集落	
◇組織の構成員	農業者	255名		
	農業者以外	750名		
	参加団体	9団体		

自治会、老人クラブ、婦人会、子供会、柵永耕農産、松永いきいきふるさと塾、小浜東部土地改良区、小浜平野土地改良共同施工、松永農業集落排水組合

II. 主な取り組み

【農地維持】

- ◆当地区では、平成19年度設立の生産組合を、地域内の経済の活性化や女性や高齢者の参加機会の確保と更なる農地集積等を目的に、平成29年に株式会社化し、若手就農者2名を加え、約95haで営農活動を行っている。
- ◆水路や農道等の保全活動は、集落周りは各集落、それ以外は営農組織で実施する役割としているが、営農繁忙期(4-5月)には、営農組織の定年退職者で構成する「草刈隊」が、営農組織をバックアップする体制を構築している。

【資源向上(共同)】

- ◆平成19年度取組開始以降、地域内の小学校と連携し、地域内の生息動植物の保全や自然環境に触れる機会と学習の場として、水路での生きもの調査・環境学習会を実施していた。しかし、平成31年度の統合で地域内の学校が廃校となり、継続が困難となる懸念があったが、営農組織の若手就農者が里山楽校として、取組みを継続している。
- ◆営農組織の若手就農者や各種団体による園児や小学生を対象とした農業体験では、伝統的農法による田植えや稲刈り、ふれあい農園でのサツマイモの苗付け・芋掘り等を実施しており、教育現場からも喜ばれている。秋の収穫後には、感謝祭を行っている。
- ◆地域の農作物を販売する直売所に隣接する農用地では田んぼアートも実施しており、地域の景観形成やPR、地域コミュニティの形成に役立っている。



【資源向上(長寿命化)】

- ◆平成23年度に向上活動(現在の資源向上(長寿命化))が導入されて以降、土地改良区が主体的に施設の長寿命化対策を実施する体制となっている。計画策定にあたっては、老朽化した水路や農道を路線単位で効果的に実施することを基本としているが、松永地区農泊推進協議会と連携した活動の一環として地域の活性化のために必要な施設の整備にも取り組むこととしている。

